

平成26年度予算見積調書

課室名：交通政策課

担当名：調査計画・3セク線担当

内線：2233

(単位：千円)

| 番号 | 事業名 | | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | |
|--|------------------|------|----|--|-----|-----|-------|--------------------|------------|
| B29 | 地下鉄7号線延伸線基本計画調査費 | | | 一般会計 | 総務費 | 企画費 | 企画調整費 | 地下鉄7号線延伸線基本計画調査費 | |
| 事業期間 | 平成14年度～ | 根拠法令 | なし | | | | 戦略項目 | | |
| | | | | | | | 分野施策 | 050202 便利な公共交通網の整備 | |
| <p>1 事業概要</p> <p>運輸政策審議会答申第18号で計画に位置付けられた地下鉄7号線延伸線（浦和美園～岩槻～蓮田）のうち先行区間の浦和美園～岩槻間についてさいたま市と連携して具体的な検討を進めてきた。平成23年度には外部有識者から成る「地下鉄7号線延伸検討委員会」を設置し、これまでの調査内容を基に検討した結果、事業採算性や費用便益比などについて厳しい結果が示された。一方で延伸実現に資する方策が示された。このため、この方策のうちまちづくり以外の方策について鉄道サービス水準の向上やコスト縮減などについての具体的な可能性の検討を進め、事業の実現性を計るための調査を行う。</p> <p>(1) 地下鉄7号線延伸線基本計画調査費 6,000千円</p> <p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p> <p>3 地方財政措置の状況 なし</p> <p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.8人=7,600千円</p> | | | | <p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 地下鉄7号線延伸線基本計画調査費 6,000千円 (調査予定事項) ア 需要予測、採算性及びB/C（費用便益比）の試算 ・最新の国勢調査、交通センサスの数値に基づき補正する。 ・快速運転やコスト縮減、利用者ニーズの変化等、これまでの調査結果や、さいたま市が進めている成長・発展方策の実施に伴う効果を反映する。 ・国が策定した新しいマニュアルに基づき評価する。 ・専門家のアドバイスを受ける。 イ 東京オリンピック開催に伴う埼玉スタジアムまでの先行整備の可能性の調査</p> <p>(2) 事業計画 26年度 これまでの調査結果を踏まえた検討ケースを設定し、最新の国勢調査、交通センサス等に基づく需要予測、採算性及び費用便益比を試算する。 東京オリンピック開催に伴う埼玉スタジアムまでの先行整備の可能性を調査する。 27年度～ まちづくりの状況や、新しい国の鉄道事業評価方法を踏まえて事業の再検討を実施する。</p> <p>(3) 事業効果 コスト縮減や資金調達などの観点から調査を行うことで地下鉄7号線延伸線の事業性の可否に向け検討が進む。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 さいたま市と連携して調査を実施する。</p> | | | | | |
| | | | | 財 源 内 訳 | | | | | |
| 予算額 | | | | | | | | 一般財源 | 前年との 対比 |
| 決定額 | 6,000 | | | | | | 6,000 | 00 | |
| 前年額 | 6,000 | | | | | | 6,000 | | |